

令和 7 年度 児童館年間事業報告

令和7年度 成岩児童センター 年間事業報告

今年度新たに始めたこと、力を入れた事業

- ◎今年度の目標・・・来館者一人一人にしっかり声をかけて触れ合う。
 ・室内環境を見直し、安全に考慮した遊びのコーナー作りを工夫した。（ジャングル広場・プラズマカーコースなど）
 ・野菜用の畑を作り、収穫体験や収穫した野菜を使った飲食の行事を実施した。
 ・子どもたちと一緒に企画をした行事を実施した。（巨大手形アート）

今年度をふりかえって感じたこと

- ・安全に分かりやすくを心がけて環境づくりをしたことで、自由にのびのびと楽しく遊ぶ姿が見られるようになった。
 ・野菜の収穫体験や飲食は驚きや発見もあり、保護者も巻き込んで親子で楽しめる内容となった。
 ・子どもたちが企画側になり準備から経験したことで、進行する楽しさや面白さが分かる第一歩となった。

年間行事

事業名	参加者	内 容	備 考
人形劇鑑賞会& 豆ごはんおにぎりを 作って食べよう！ 5月31日（土）	幼児22名 小学生26名 中学生1名 大人22名	人形劇サークル「パペットやなべ」による「大きなかぶ」「宝のげた」の鑑賞会を開催。 その後、センターで収穫したグリーンピースを使った豆ごはんおにぎりを作り、みんなで食べた。サララップを使った豆おにぎりだったので幼児たちも食べやすく、おかわりに来た子も大勢いた。	【出演】 パペットやなべ 4名 【ボランティア】 一般 3名 運営委員 1名 写真①
なるじセンターまつり 7月5日（土）	幼児87名 小学生132名 中学生33名 大人100名	赤…工作たこやきでポン！、黄…コイン落とし→ヒヤヒヤボール、緑…ワニワニパニック→ボールゲット→コロコロボール、青…射的の4コースに分け、7つのゲームで開催。特に、トイレットペーパーの芯・風船・折り紙で工作したたこを使い、たこ焼きを的に飛ばす『たこやきでポン！』は人気があり、大変喜ばれた。中学生ボランティア・小学生のちびっこスタッフも大活躍した。	【ボランティア】 フレッシュ体操10名 一般 11名 運営委員 2名 中学生 33名 高校生 1名 小学生 24名 写真②～⑥
<くわいらいデー> ペットボトルのふたで しおりを作ろう 10月30日（木） 10月31日（金）	小学生31名	【小学生対象、廃材を使った工作】 白・赤・緑・黄緑・黄・橙・水色の細かく切ったペットボトルのふたの材料を3色選び、アイロンがけしたものはさみで好きな形にカットし、しおりを作った。 3色が混ざり合って偶然できるおもしろい模様になり、自分だけのしおり作りを楽しめた。	写真⑦



令和7年度 成岩児童センター 年間事業報告

事業名	参加者	内容	備考
レッツ☆ハロウィン 10月11日(土)	幼児56名 小学生69名 大人71名	工作、3つのゲーム、ミツケ、フォトスポットのコーナーに分けて開催。 工作では、牛乳パックを使ったハロウィンバッグ作りが好評で、オリジナルの素敵なバッグが出来上がった。また、ゲームにストラックアウトを取り入れ、ハロウィンの雰囲気を楽しみながら体を動かして遊ぶニュースポーツも楽しめた。	【ボランティア】 フレッシュ体操 7名 一般 1名 運営委員 2名 高校生 1名 小学生スタッフ 15名 写真⑧⑨
<おやっこ> 野菜の収穫体験& 鬼まんじゅうを 食べよう 12月4日(木)	幼児22名 大人12名	センターで育てた里芋の収穫体験をおやっこ内で実施。初めて里芋を収穫する保護者が多く、土や里芋に親子で直接触れることのできる貴重な経験となった。 その後、センターで育てて収穫したサツマイモを使った鬼まんじゅうを、親子で一緒に食べ、秋の味りを感じられる内容となった。 親子で掘った里芋はおみやげとして渡した。	写真⑩ 写真⑪：別日で小学生と里芋収穫
秋のお楽しみ会 巨大手形アート・ 里芋カレー 11月15日(土)	幼児19名 小学生24名 大人15名	◇巨大手形アートを作ろう 小学5年生3名と一緒に巨大手形アートを企画し、下絵の図案や配色を含むデザイン作りに取り組んだ。当日は各色に分かれ、子どもたちの手形を押して完成させ、ホール壁面に飾った。 ◇カレーを作って食べよう センターで収穫した里芋と人参を使い、小学生には野菜洗いを手伝ってもらい、カレー作りを実施。 各自持参のご飯にルーをかけ、何度もおかわりをして美味しく食べる姿が見られた。	【ボランティア】 一般 2名 写真⑫～⑮
1月29日(木) 冬のちびっこ運動会	幼児34名 大人25名	①かけっこ②お宝運び③玉入れ④障害物競走(綱くぐり、橋渡り、トンネル、ボール運び、メダル取り)のプログラムで開催。 冬の寒い季節だったが、親子で体を動かして遊ぶ中で歓声が上がった。 「自分の力で最後までかけっこができた」「橋渡りが上手にできた」などの感想が聞かれ、子どもの成長に触れ喜びを感じるよい機会となった。	写真⑯～⑲



令和7年度 亀崎児童センター 年間事業報告

今年度新たに始めたこと、力を入れた事業

今年度末で亀崎児童センターは閉館になるため、子どもたちの記憶に残るよう可能な限り飲食を取り入れながらすべての行事に取り組んだ。

今年度をふりかえって感じたこと

遊びに来る子どもたちを始め、保護者や地域の方々から閉館を惜しむ声をたくさんいただいております、家でも学校でもない「第3の居場所」の必要性を強く感じた。

年間行事

事業名	参加者	内 容	備 考
夏のお楽しみ会 「かめじ冒険島」 7月22日(火)	幼 児 11名 小学生 48名	手形足形アートを始め、ミニ輪ゴム船作り・水遊び・泥遊びなど6つのコーナーで実施。書道家の方に「亀崎児童センターありがとう」と書いていただいた和紙状のロール紙に手形や足形を押してアート作品を制作。暑い日だったため参加者の中には、水遊びコーナーで頭から水をかぶるなど、ボランティアの大学生も参加し、大変賑わった。	【ボランティア】かめじサポーターズ(4)、日本福祉大学(3)、名城大学(2) 写真①・②・③
縁日ごっこ 8月7日(木)	幼 児 35名 小学生 85名	輪投げ・千本引き・射的・魚釣り・棒ジュースなど7つのコーナーで実施。前半のみ子どもスタッフとして3年生以上の子に手伝ってもらい、混雑を緩和した。この日も暑い日だったが、サマーボランティアや大学生などの参加もあり盛り上がった。	【ボランティア】かめじサポーターズ(6)、日本福祉大学(3)、サマーボランティア(半田東高:1、亀崎中学校:3) 写真④・⑤
サマーコンサート 8月19日(火)	幼 児 8名 小学生 15名 中学生 5名 高校生 2名 大 人 42名	亀崎中学校の吹奏楽部と愛町ジュニアマーチングバンドに出演いただきコンサートを実施。吹奏楽部の演奏では管楽器のみの演奏や7月のコンクールで金賞を受賞した曲などを演奏。愛町ジュニアマーチングバンドのみなさんはバトンを使った演奏や動きながらの演奏などがあり、児童センター最後のサマーコンサートは大いに盛り上がった。	【出演者】亀崎中学校吹奏楽部(25)、愛町ジュニアマーチングバンド(34) 【ボランティア】かめじサポーターズ(2) 写真⑥



令和7年度 亀崎児童センター 年間事業報告

事業名	参加者	内 容	備 考
かめっこ フェスティバル 「さいごのかめっこ フェスティバル」 10月4日(土)	幼 児 36名 小学生 115名 大 人 52名	「さいごのかめっこフェスティバル」と題して開催。当日は雨模様だったため一部内容を変更し、かめじ建築会社・スーパーかめじブラザーズ・ハンティングワードなど7つのコーナーで実施。今回も亀崎の朝市に出ているだんご屋に出店してもらい、みたらし団子とジュースを提供。ボランティアを含め多くの参加者があり、フィナーレを飾ることができた。	【ボランティア】かめじサポーターズ(15)、おもちゃ病院(2)、スポーツ推進委員(3)、ボーイスカウト(2)、日本福祉大学(3)、名城大学(8) 写真⑦
秋のお楽しみ会 「人気行事を楽しもう!!」 11月15日(土)	幼 児 19名 小学生 36名 大 人 17名	これまで行ってきた人気行事を工作、ゲーム、クッキングに分けて開催。工作ではプラバンストラップ・カラフルマリモ・クリスマスステンドグラス・手形カレンダーを、ゲームはバブロケット・ハンティングワードを、クッキングは餃子の皮ピザ・べっこうあめ作りを実施。種目が多かったためすべてを回することはできなかったが参加者はみな楽しんでた。	【ボランティア】かめじサポーターズ(6)
クリスマス会 12月23日(火)	幼 児 17名 小学生 63名 中学生 1名 大 人 28名	子どもたちの出し物のほか、日本福祉大学生による大道芸とビンゴ大会を実施。最後のクリスマス会のため、子どもたちの演目もピアノ演奏のほかにフラダンスや日舞・マジックで楽しんだ。その後、大道芸サークルによるバルーンアートなどがあり、最後はビンゴ大会で大変盛り上がった。	【出演者】子どもたち(12)、日本福祉大学(3) 【ボランティア】かめじサポーターズ(2) 写真⑧・⑨
プラズマカーレース 1月24日(土)	幼 児 6名 小学生 18名 大 人 10名	児童センター閉館の思い出作りの一環として、亀崎小学校旧校舎を借用してプラズマカーレースを開催。児童センターでは長い直線コースが作れないことから、旧校舎の廊下を使って幼児は20メートル、小学生は50メートルを疾走するタイムレースを行った。参加した子どもたちは普段学校ではやれないことを経験し、楽しんでた。	【ボランティア】かめじサポーターズ(2)、日本福祉大学(3) 写真⑩
新年お楽しみ会 「もちつき会」 1月31日(土)	幼 児 33名 小学生 63名 中学生 3名 大 人 43名	新年お楽しみ会として「もちつき会」を開催。最初に大人が餅をついた後、子どもの餅つき体験を行い、試食。もち米価格の高騰により、1人あたりの餅を昨年より少し減らして対応。今回が児童センターで行う最後の「もちつき会」だったため、申し込んだ子どもを始め、かめじサポーターズや日本福祉大学の学生など多くの参加者があり、大変賑わった。	【ボランティア】かめじサポーターズ(29)、日本福祉大学(4) 写真⑪・⑫



令和7年度 半田児童センター 年間事業報告

今年度新たに始めたこと、力を入れた事業

今年度は環境の改善に特に力を入れた。館庭では樹木の伐採や剪定、除草作業、門扉の塗装などを行い、安全で衛生的で気持ちよく利用できる環境を整えた。屋内はトミカ、プラレールなど子どもの取り組みやすい遊びを常に出しておいたり、図書室に座卓を置いたりすることで、アットホームな雰囲気になった。

今年度新たに、マジックショーやダンスパーティー、お化け屋敷などの活動を取り入れた。また、学校教育課や保育園に依頼して不要なチョークをいただき、コンクリート部分にダイナミックなアートがいつでも楽しめるようにした。

今年度をふりかえって感じたこと

来館者の多い日は駐車場が足りなくなることがあり、駐車ラインを引き直す、職員の車をグラウンドに停めておく、徒歩をすすめるなどの工夫をしているが十分ではない。ドッジビーなど高学年に人気の活動の日は駐輪スペースもいっぱいになり、課題となっている。

年間行事

事業名	参加者	内容	備考
グラウンドゴルフ大会 5月22日(木)	小学生20名 大人7名	住吉高砂連合会グラウンドゴルフ部の指導のもと、ゴルフのゲームとホールインワン大会を楽しみ、子どもたちと部員の方々との交流をした。	住吉高砂連合会7名 写真①
ちびっこ夏祭り 7月3日(木)	幼児58名 大人52名	幼児親子を対象に輪投げ、水風船、魚釣り、アイスやさん、くじ引きなどのコーナーを楽しみ、七夕制作では、飾りつけた笹を一枝ずつ持ち帰った。	コアラ倶楽部7名 一般ボランティア1名 写真②③
夏の納涼あそび 8月8日(金)	幼児38名 小学生68名 大人44名	すくいゲーム、射的、水風船、手裏剣投げ、ルーレットハリケーンなど6つのゲームとアイスコーナーで、夏の縁日の雰囲気の中楽しんだ。	コアラ倶楽部7名 一般ボランティア1名 写真④⑤⑥⑦⑧



令和7年度 半田児童センター 年間事業報告

事業名	参加者	内容	備考
センターまつり ハッピーハロウィン 10月18日(土)	幼児76名 小学生125名 大人150名	今年度初めて取り入れたお化け屋敷が好評。他にボーリング、シューティング、宝探し、ボールキャッチ、食べ物コーナーなど。多くのスタッフの支援を得ながら交流を楽しみ、ハロウィンの雰囲気の中行うことができた。	コアラ倶楽部7名 一般ボランティア8名 学生ボランティア8名 高砂会6名 厚生員3名 写真⑨⑩⑪⑫
秋のお楽しみ会 「バルーンアート ショー」 11月15日(土)	幼児16名 小学生36名 大人20名	バルーンアートの講師に依頼し、ショーを観ることと実際にアート体験をすることの両方で楽しみ、バルーンアートの魅力を感じた。	バルーンアート講師 「HIRO」 手伝いスタッフ5名 写真⑬⑭
ちびっこXmas会 12月11日(木)	幼児56名 大人43名	パペットやなべの演じる人形劇を観た後、サンタクロースが登場し、プレゼントをもらった。写真撮影も行い、楽しいXmasの一日となった。	パペットやなべ4名 写真⑮⑯
ピカピカ大掃除と お楽しみ会 12月23日(火)	幼児4名 小学生62名 中学生1名 大人8名	年末の行事として館内の大掃除を行った。いくつかのグループに分け、遊戯室、図書室、玄関や砂場の砂上げも担当した。その後ビンゴ大会やコアと菓子のカフェタイムを楽しんだ。	コアラ倶楽部1名 写真⑰⑱⑲



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



⑲

令和7年度 乙川児童センター 年間事業報告

今年度新たに始めたこと、力を入れた事業

一年を通じてどの行事や活動でも、一度参加した子どもたち・親子さん方が「またこの児童センターに遊びに来たい」と思えるように、内容を工夫したり個々に寄り添う姿勢を心掛けたりした。

今年度をふりかえって感じたこと

センターまつりや秋まつりなど行事に参加する保護者の方が、自分が子どもの頃に参加した経験があることや、ボランティアの高齢の方が「以前は我が子を連れてよく通った」と聞くことが多く、親子代々で児童センターを利用している地域だと感じた。今後もこうした人と人とのつながりを大切にしていきたい。

年間行事

事業名	参加者	内容	備考
ハッピー☆DAY 5月17日(土)	幼児 8名 小学生 23名 中学生 2名 大人 16名 【定員 30名】	異年齢の子どもたちとの交流を楽しみながらパフェ作りをした。 パフェは、プラカップに缶詰の果物やクッキー、ウエハースなどを自由にトッピングして、自分で作る楽しさを味わうことができた。	写真 ①
幼児親子お楽しみ会 6月11日(水)	幼児 26名 大人 23名 【定員 40名】	① 魚釣り(お菓子の入った魚の形の袋) ② お楽しみ工作(アンパンマンのうちわ) ③ わなげ ④ 千本引き おやっこ、ひよっこ参加者を対象に行う。①～④の各ブースを回った。各ブースでお土産がもらえて、幼児に合わせた内容の催しのためどの子も大喜びだった。	写真 ②
縁日ごっこ 7月18日(金)	幼児 21名 小学生 35名 大人 25名 【定員 60名】	① 千本くじ(お菓子、ジュース等) ② 風船釣り ③ ビンポン落とし ④ ボール転がし 一学期最終日に行う恒例の行事で、ゲームを楽しんだ後に個々のブースでお土産がもらえて、最後にチケットと交換でプレゼントとアイスクャンディーがふるまわれるため、大盛況だった。	写真 ③



①



②



③

令和7年度 乙川児童センター 年間事業報告

事業名	参加者	内 容	備 考
センターまつり 『すくすくフェスタ 2025』 9月20日(土)	幼 児 64名 小学生 68名 大 人 66名 【定員 150名】	① ? (ハテナ) ボックス ② ボールキャッチ ③ 水風船釣り ④ バルーンダーツ ⑤ お楽しみ工作 (きらきらボトル) ⑥ つかみ取り 老人会やボランティア、他館の職員等の協力のもと、一年で一番大きな催しを無事に開催することができた。	ボランティア ・乙川千歳会 6名 ・すくすくサポート 乙川 13名 ・ボーイスカウト 7名 ・運営委員 2名他 写真 ④
Trick or Treat 10月29日(水) 30日(木)	幼 児 13名 小学生 40名 大 人 18名 【定員 70名】	お楽しみ工作をして「Trick or Treat」と言うとお菓子のプレゼントがもらえた。 バスボム作りは重曹やクエン酸を水と混ぜるだけで簡単にできるため、友達同士で談笑しながら作っていた。 仮装して参加する子どもも多く、賑やかな一日だった。	写真 ⑤・⑥
秋まつり 11月29日(土)	幼 児 7名 小学生 14名 中学生 1名 大 人 13名 【定員 30名】	焼き芋の下準備を子どもたちが行い、焼けるまでの間にマリーゴールド染めを行った。 焼き芋は、児童センター周りの掃き掃除をして集めた落ち葉を使い、染め物は、花壇に咲いていたマリーゴールドで染めた。 児童センター内の環境を生かして秋を楽しむことができた。	写真 ⑦
クリスマス会 12月20日(土)	幼 児 14名 小学生 13名 大 人 13名 【定員 30名】	初めて、電子レンジで作るレシピでクレープ作りを行った。 ラップから生地を剥がす工程が難しかった子もいたが、盛りだくさんのトッピングをしてお腹いっぱい食べることができて満足そうだった。 2学期の最終日に子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができてとてもうれしかった。	写真 ⑧・⑨



令和7年度 板山ふれあいセンター 年間事業報告

今年度新たに始めたこと、力を入れた事業

こどもの主体性を育むためのアプローチ

- ①自由なあそびの提供・・・運動遊具、工作材料、玩具を充実。手に取りやすく、わかりやすい環境設定を行う。
- ②「やってみたい」を応援・・・こどもプランナー、キッズ店長、特技の発表会、館内放送のリクエスト
- ③多様なプログラムの実施・・・専門技術、知識を持った専門講師による事業。地域で活動する団体や近隣施設間との交流事業

今年度をふりかえって感じたこと

幼児・小学生・中高大学生から高齢者の豊かな世代間交流で多くの笑顔がみられた。
子育て支援事業について、2・3歳児親子対象とした「おやこっこ」の参加者数は減少傾向にある一方で、0歳児・1歳児の親子を対象とした支援事業のニーズは高まっている。安心して親子が集える場所を提供していきたい。
保護者の声として、「楽しいイベントがたくさんある」「家ではできない遊びや体験ができる」「親自身の悩みを聞いてもらえる」「こどもにたくさん声をかけてくれる」等があった。イベントに参加したり、遊んだりする目的での利用に加えて、職員の対応が重視されている。今後も丁寧な寄り添いの心を掛けていきたい。また、「来館しているお母様方の感じが良い」という意見があった。利用者が一体となり施設を支え、良い影響をもたらしていると感じた。意見としては、「写真を撮る機会が増えるといい」「webでイベント申し込みができるといい」があった。
児童館のイベント情報や日々の活動の様子、児童館の魅力をWebやSNSで発信する広報活動の強化とデジタル技術を活用するなど効率化を図ってきたい。

事業名	参加者	内容	備考
にじいろフェスタ 7月18日(金) 8月20日(水) 8月21日(木)	幼児111名(板山こども園児) 小学生80名 中学生4名 高校生3名 大人58名	「南吉さんぽ」をテーマとして、あそびを展開。こどもたちの作品で館内を装飾して、南吉の世界を楽しむ。 こどもプランナーは3つのコーナーを企画。プランナー会議、準備、当日の運営まで自発的に取り組めた。 学生ボランティアがあそびの紹介、実演を担う。	こどもプランナー：8名 講師：インクルーシブダーツクラブ2名 協力：主任児童委員2名、板山こども園父母の会7名 ボランティア：青山中学校・半田東高校 共催：にじいろえがおサポーター 写真①・②
パパとリトミック 10月4日(土)	乳幼児とパパ 乳幼児20名 大人16名	ピアノのリズムに合わせ、自由に身体を動かす。大型絵本「おめんです」に合わせたリトミックもあり、バラエティー豊かな内容。 パパならではのダイナミックな動きで、こどもたちは愉しく音楽にふれた。	講師：貝沼洋子 写真③
板ふれこどもマルシェ 10月18日(土)	幼児150名 小学生190名 中学生6名 高校生1名 大人175名	氷アートは、オープニングを華やかに彩った。どのような作品が生まれるのかを楽しみにしながら、高校生の歌声やギター演奏を満喫した。 1時間程で、氷の柱が繊細で立体的な“柴犬”になり会場から歓声が上がった。 キッズ店は5店舗(レジンのキーホルダー屋・魚つり・輪投げ他)それぞれ屋号や準備品に工夫を凝らして、店長を務めた。こども向けのワークショップとして、地域の大人が6店舗を出店(グライダー投げ・アフリカ雑貨作り・独楽作り他)ものづくりやあそびを楽しんだ。綿菓子や駄菓子屋、父親有志(4名)の玉せん屋もあり、アットホームな雰囲気のマルシェとなった。	出演：氷彫会 青木前行・ギター演奏こうき ボランティア：青山中学校 共催：にじいろえがおサポーター 写真④・⑤・⑥



令和7年度 板山ふれあいセンター 年間事業報告

事業名	参加者	内容	備考
クリスマス会 12月6日(土) 12月16日(火)	幼児4名 小学生33名 中学生5名 大人32名	特技を披露する発表会形式とした。内容は伝統芸能、楽器演奏(ピアノ・ウクレレ・フォークギター)、イラスト画、こま回し、けん玉。緊張しながらも発表する姿は輝いていて、多くの拍手が観衆から響き渡り、思い出に残るクリスマス会となった。	出演：板山万歳8名、小学生7名 写真⑥・⑦
	乳幼児49名 大人40名	八分音符の演奏(ピアノ、電子ピアノ、フルート、カホン)・サンタによる歌・全員で楽器演奏を楽しむ。サンタの「もろびてこぞりて」の歌に魅了され、生演奏に触れたことに感激する姿がみられた。	出演：八分音符4名、百田運営委員 写真⑧・⑨
半田市Fun&Fanツアー 12月11日(木)	幼児14名 大人12名	子育てに関するイメージを具体的に持ってもらうため、子育て支援施設を巡るバスツアーで初めての親子が来館。施設・活動内容の紹介とプレ体験として「ひよっこ」に参加していただいた。 早速、翌週に再来館の方がみえた。	主催：企画課
将棋であそぼう 年12回(月) 将棋大会 年2回 (夏休み・春休み)	幼児26名 (大会3名) 小学生70名 (大会7名) 大人18名	講師に、戦法や駒の手筋をわかりやすく教えていただくことで、将棋のおもしろさ、楽しさが増し参加者が増えている。 初心者には山崩し、周り将棋などを親しむ。	講師：地域の方3名 写真⑩
たまごっこ 年6回(月)	0歳児親子 乳児64名 大人61名	ふれあいあそびを主として、季節行事・足形アート・絵本のよみかせ等を楽しむ。6か月前後の親子が多く、同じ月齢の親同士の交流、育児の情報交換の場となっている。生後1か月から継続して参加している親子もいる。	写真⑪



令和7年度 青山児童センター花・はな 年間事業報告

今年度新たに始めたこと、力を入れた事業

花園小学校との連携を深めるために、「花園小学校PTA総会支援」と「校外学習の受け入れ」の二つの事業を行った。

今年度をふりかえって感じたこと

就園前児童から中学生まで幅広い年齢層の子どもたちが児童センターに遊びに来てくれた。特に夏休みは暑すぎて外で遊べない子供たちが大勢来館した。熱中症対策として浄水器の冷たい水や熱中症対策タブレットを来館した子供たちに提供した。今後もこういった対策が必要になっていくと思われる。

年間行事

事業名	参加者	内容	備考
花園小学校PTA総会支援 4月22日(火)	小学生：36人 ボランティア：6人	保護者が花園小学校PTA総会に出席する子どもたち(1, 2年生)を学校まで迎えに行き、総会が終わるまで児童センターで遊んでもらう。	神戸おやじ会
花はなランドであそぼう 5月17日(土)	幼児：10人 小学生：45人 大人：10人 ボランティア：20人	ゲーム：ボックスバスケ・ピタカード・空気砲 制作：フォーク弓矢 体験：防災食器作り 大型紙芝居「地震」・避難訓練	中ボラ 神戸おやじ会 VCの会 ちょボラ 写真①②
ちびっこ縁日 7月2日(水)	幼児：66人 大人：47人	ゲーム：どうぶつパクパク・わなげ・サッカー 制作：とりぞー フォトスポット とりぞーてくてくコース トンネル ボール落とし	盆踊り指導 酒井豊翁先生 写真③



令和7年度 青山児童センター花・はな 年間事業報告

事業名	参加者	内容	備考
花はなまつり 11月1日(土)	幼児：52人 小学生：165人 中学生：16人 大人：100人	オープニング：伝統文化親子教室「ケセラセラ」・つくしっ鼓 ゲーム：モルック・ポッチャ・ゴルフ・バスケット・たこゲッチュウ・巨大迷路・つり・運を引っぱれ！	神戸おやじ会・VCの会・ちょボラ・中ボラ・子育て支援部会・市議写真④
花園小学校2年生 校外学習 11月4日(火)	小学生：90人 大人：5人	・児童センターについて説明 ・質疑応答 ・施設内の見学	写真⑤
小学生クリスマス会 12月23日(火)	小学生：150人 大人：7人	ゲーム：ポンポンクリスマス・真ん中玉入れ・サンタさんがころんだ	写真⑥
新春お祝い会 1月5日(月)	小学生：77人 大人：8人	お正月遊び：羽根つき・かるた・福笑い・すごろく・こま・けん玉	写真⑦



令和7年度 有協児童館 年間事業報告

今年度新たに始めたこと、力を入れた事業

児童館まつり開催時期の10月から7月への変更、もちつき会の餅を利用した正月のぜんざい振る舞い、図書室への新しいカードゲーム等の配置

今年度をふりかえって感じたこと

乳幼児親子の定例活動（おやこっこなど）の参加組数の確保が難しくなっている
夏季の外遊び可・不可の判断の基準が明確にできなかった

年間行事

事業名	参加者	内容	備考
レッツクッキング 6月28日（土）	小学生15名	あいち知多農協の協力で、食農出前講座として、JA地域女性部の方々の指導のもと、かぼちゃケーキとほうじ茶ゼリーのクッキング体験をした。参加者が協力しながら進めきれいな出来あがりとなり、皆で楽しく食べた。	【協力】 あいち知多農協9名 写真①
児童館まつり ありじフェス 7月12日（土）	幼児46名 小学生83名 大人48名	児童館まつりとして、射的・水ふうせん・ボールキャッチ・わなげのゲームコーナー、サンドボールアートの工作コーナー、フランクフルト・ゼリー・ポップコーン・わたがしの食べ物コーナーを設置し、各コーナーを参加者が回る形の夏まつりフェスを行った。	【ボランティア】 亀崎中・半田東高・日本福祉大・運営委員・あじばら等45名 写真② ③ ④
秋のお楽しみ会 ーミニフェスー 10月11日（土）	幼児43名 小学生67名 大人50名	ハロウィンのミニフェスとして、スマートボール・シューティング・5シュート・おかしつりのゲームコーナー、ハロウィンちょうちんの工作コーナーと、ハッシュドポテト・ワッフル・わたがしの食べ物コーナーを設置し、各コーナーを参加者が回る形のお楽しみ会を行った。	【ボランティア】 亀崎中・日本福祉大・運営委員・あじばら等42名 写真⑤ ⑥ ⑦



令和7年度 有協児童館 年間事業報告

事業名	参加者	内容	備考
もちつき会 11月29日(土)	幼児29名 小学生38名 中学生1名 大人36名	多世代の交流事業として、有協長生会との共催で、伝統的な行事であるもちつき会を今年も実施した。子ども中心に杵と臼でのもちつき体験をし、ついた餅は一人あたり3個(きなこ・あんこ・醤油のり)の丸餅にして参加者に提供し、食事スペースで食べてもらった。	【協力】 有協長生会13名 【ボランティア】 日本福祉大・運営委員・あじばら等14名 写真⑧
大そうじ・お楽しみ会 12月6日(土)	幼児7名 小学生22名 大人8名	併設となっている公民館の大そうじにあわせ児童館施設の窓ふき、本棚の整理などのそうじを行い、そうじ終了後、市職員講師による防災教室で、災害時のトイレの確保の大切さなどを実験を含めて学び、最後に、ビンゴ大会を楽しんだ。	【講師】 防災安全課職員 写真⑨
クリスマス会 12月20日(土)	幼児15名 小学生43名 大人14名	バルーンアートを行ってくれる「クラッチ&チャーボー」のバルーンショーを鑑賞したあと、参加者各自が「剣」と「犬」のバルーンアート作りにボラのアシストのもと挑戦した。バルーンアート作り終了後は、各自がビュッフエスタイルのパフェを作って食べた。	【出演】 クラッチ&チャーボー 【ボランティア】 日本福祉大・運営委員・あじばら等22名 写真⑩ ⑪
そばうち教室 1月17日(土)	小学生9名 大人4人	有協の緑と水の保護やそばうちやしめ縄つくりの指導を行う「有協菜の花クラブ」の協力でそばうちの体験をした。小学生は全員低学年で6人が初参加だったが、粉をこねて伸ばし切ってそばにする工程を一生懸命に行い、自分で作ったそばをバックに入れて持ち帰った。	【協力】 有協菜の花クラブ5名 写真⑫ ⑬

